

課題番号：33

課題名		廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「処分概念」 課題「 <b>処分概念の構築</b> 」	
ニーズ		望ましい状態とその理由	（参考）関連する研究課題
1	処分概念を高度化したい	●事故廃棄物の処分の信頼性、安全性を高めるために、既存の廃棄物と異なる特徴をもった事故廃棄物に対する処分概念の確立、高度化が望まれる。	課題リスト11/12「セメント系材料によるウラン化学種閉じ込め効果を考慮した人工バリアの設計」
2	処分方策を検討したい	●事故廃棄物の処分に対し、多様なステークホルダーの要望、懸念、廃棄物の特性等を踏まえ、合理的で安全な処分方法の確立が望まれる。 ●事故廃棄物の処分に対し、既存の処分方策、処分概念の適用可能性を確認する手法が望まれる。また、適用に問題がある場合、新たな処分方策、処分概念を構築する手法が望まれる。	H28年度英知「汚染水処理で発生する合成ゼオライトとチタン酸塩のセメント固化体の核種封じ込め性能の理解とモデル化およびその処分システムの提案」
			廃炉・汚染水対策事業「固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発」
関連する課題		○「基礎・基盤研究の全体マップ（詳細版）」にて、本課題と矢印で結ばれた課題は関連する課題です。ご参照ください。 ○また、「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」と「汚染水対策」、「使用済燃料プールからの燃料取り出し」、「燃料デブリ取り出し」を結ぶ「キャラクターゼーション（廃棄物管理のための）」も、本課題と関連する課題です。ご参照ください。	